



不定期刊行 2010年5月25日発行  
東日本高速道路(株) 仙台工事事務所

## よろしくお願いします

4月1日付けの人事異動により4名が入れ替りましたので、お知らせします。技術担当副所長の三上(前任者:佐藤)、用地課長の富本(前任者:那知上)、工務課長の上山(前任者:清野)、山元工事長の渡辺(前任者:畠山)です。前任者を引き継ぎ、早く地域の皆様と連携をもって事業が進められるよう励んでまいりますので、宜しくお願いいたします。

常磐自動車道県境～山元間10kmにつきましては、平成26年度開通(常磐道全通)に向け、道路に必要となる用地をお譲り頂きますよう地権者の方々をお願いに上がっているところですが、おかげさまをもち順調に契約をいただいております。また宮城県、山元町の関係機関のご尽力により一部文化財発掘調査も開始されました。一日も早い開通を目指し、事務所一同頑張っていく所存ですので、前任者同様皆様方のご協力とご支援を頂きますようお願いいたします。



副所長 三上雄二



用地課長 富本智生



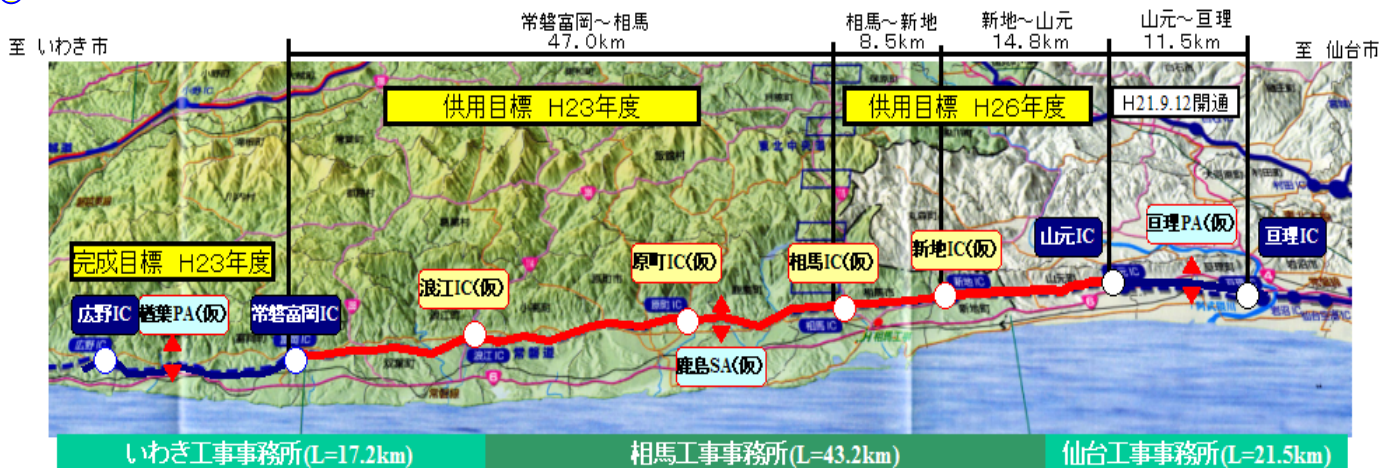
工務課長 上山 満



山元工事長 渡辺吉章

## 常磐自動車道(常磐富岡IC～山元IC) 業務進捗状況

常磐自動車道建設工事は、南から17.2kmをいわき工事事務所が、中間部43.2kmを相馬工事事務所が、県境から山元ICまでの10.0kmを仙台工事事務所が担当しています。常磐自動車道全体の進捗状況(4月末現在)は下図のとおりです。常磐富岡～相馬間を平成23年度、相馬～山元間を平成26年度に開通すべく鋭意事業を進めていきます。



区 間	いわき工事事務所(L=17.2km)		相馬工事事務所(L=43.2km)		仙台工事事務所(L=21.5km)	
	常磐富岡～浪江	浪江～相馬	相馬～新地	新地～山元	摘 要	
距 離	17.2 km	29.9 km	8.5 km	4.8km	10.0km	
用地契約率	100%	100%	96%	91%	63%	
文化財(本掘)	100%	100%	59%	未着手	5月上旬着手	
工事着手率又は調査・設計状況	100%	100%	54%	路線測量・土質調査完了 詳細設計実施中	路線測量・土質調査完了 詳細設計実施中	
今後の予定	工事の推進	工事の推進	工事の推進、文化財調査の推進	用地取得の推進、文化財調査に着手	用地取得の推進、文化財調査の推進	

## 常磐自動車道(新地～山元間) 事業進捗状況

**用地課** 昨年夏より、用地事務委託先である宮城県土地開発公社職員が、地権者の皆様のお宅を個別に訪問し、土地や物件移転に関する具体的な説明を行っているところです。皆様には、お忙しいところお時間を割いていただきありがとうございます。おかげさまをもち順調に契約が進捗しております。説明内容をご理解いただき、契約にご同意下さいますよう引き続きよろしくお願い申し上げます。

**山元工事業区** 福島県境～山元IC10kmは、地質調査や道路本体部分の設計が完了し、橋の詳細な設計も完了しつつあります。

現在作業中の水文調査(井戸水位調査)は6月から水質調査を予定しております。種々ご迷惑をおかけし恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。  
{水文調査:平成22年秋まで 中央開発(株)}

また当地区は一昨年からの調査で多くの埋蔵文化財が確認されておりますが、この5月から宮城県、山元町への委託により、山元地区や谷原地区の発掘調査に着手しました。今後も用地契約の完了した箇所調査を進めてまいりますので、引き続きご支援をお願い致します。

### 埋蔵文化財の発掘調査風景(山元町浅生原字山王)



## NEXCO仙台工事事務所のトピックス

### 仙台北部道路(利府しらかし台IC～富谷JCT)が開通しました!!(仙台都市圏環状ネットワークの完成)

仙台都市圏環状ネットワーク **完成**  
利府しらかし台IC⇄富谷JCT  
3月27日(土)15:00開通!



完成式の様子

3月27日(土)11時25分、利府しらかし台インターチェンジで仙台北部道路(利府しらかし台IC～富谷JCT)完成式が行われました。晴天のもと村井知事をはじめ県選出国會議員、沿線市町村長や富谷町、利府町、大和町の6名の児童代表等によるテープカット・くす玉開被の後、開通区間の祝賀パレードを行い完成をお祝いしました。同日15時から供用開始されましたが、開通1ヶ月後の交通量が想定の1.6倍の利用交通量(6,200台/日)となり、国道4号や県道塩釜吉岡線の混雑が緩和されています。山元町・亶理町から宮城県北部や北東北方面へのお出掛けが、ぐっと便利になりましたので、ぜひご利用下さい。

(富谷ジャンクション)



(パレードの様子)



「いぐねだより」第22号の発刊です。  
本号より三上が担当します。よろしくお願いいたします。  
【編集責任者:副所長 三上TEL022-248-4552】

